

《担当者名》片山 寛信【katayama@hoku-iryo-u.ac.jp】

【概要】

子どもと家族の現状をふまえた上で、その課題やニーズに対する、児童福祉に関する制度や政策についての基本的な理解を得ることを目的とする。特に、子どもという存在の特性を理解した上で、児童福祉の理念と発展過程、児童福祉法と機関、児童福祉の実際、子どもの貧困と人権問題の現状、児童福祉の課題について考える。

【学修目標】

1. 日本の児童福祉施策の概要と課題を説明できる。
2. 子どもと家族を取り巻く社会的な状況について理解する。
3. 子どもの存在の特性と子どもの人権について説明できる。
4. さまざまな状況にある子どもの存在とそれに対する制度・政策、実践を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 子ども家庭福祉とは何か	受講上の諸注意 少子高齢社会と子ども家庭福祉問題をとらえる	片山
2	子ども家庭福祉の基本的考え方	子ども家庭福祉の意義と基本的枠組み、基本理念を理解する	片山
3	子どもという存在と子ども家庭福祉	子ども観の変遷と子どもの人権・権利保障を説明できる	片山
4	子ども家庭福祉の展開 子ども家庭福祉の制度	日本と欧米の子ども家庭福祉の展開を説明できる 子ども家庭福祉の法律と施策施設について説明できる	片山
5	子ども家庭福祉の援助	子ども家庭福祉の援助の基本と求められる倫理について説明できる 関係機関と専門職の役割について説明できる	片山
6	母子保健・子どもの健全育成と家庭福祉 就学前の拠点型保育・教育と子ども家庭福祉	母子保健・子どもの健全育成の現状と課題について説明できる 就学前の拠点型保育・教育の現状と課題について説明できる	片山
7	地域子育て支援と子ども家庭福祉	地域子育て支援の位置づけと施策について説明できる 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境について説明できる	片山
8	障がいのある子どもと子ども家庭福祉	障がいのある子どもの状況と対策について説明できる	片山
9	市区町村子ども家庭総合支援拠点の実際	地域における虐待予防と子育て支援の連携について実践を知る（特別講師：千歳市子ども家庭総合支援拠点 佐藤氏）	片山 佐藤 薫（特別講師）
10	少年非行と子ども家庭福祉	少年非行の現状と対応について説明できる	片山
11	子どもの貧困・ひとり親家庭・ヤングケアラーと子ども家庭福祉	子どもの貧困とひとり親家庭，ヤングケアラーの現状と対策について説明できる	片山
12	社会的養護・子ども虐待と子ども家庭福祉	子ども虐待の現状と対応、課題について説明できる	片山
13	社会的養護・子ども虐待と子ども家庭福祉	社会的養護の現状と新しい社会的養育ビジョンが示す今後について説明できる	片山

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
14	社会的養護・子ども虐待と子ども家庭福祉	社会的養護の支援の展開が説明できる。	片山
15	子ども家庭福祉サービスの動向と展望	子ども家庭福祉の総括と今後の課題について説明できる	片山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験70% リアクションペーパー30%

【教科書】

山縣文治著『シリーズ・福祉を知る 子ども家庭福祉論 [第3版]』ミネルヴァ書房（2022）

【参考書】

最新・社会福祉士養成講座「児童・家庭福祉」中央法規出版 2021
 子ども家庭福祉：子ども・家族・社会をどうとらえるか 生活書院

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「児童・家庭福祉」に該当する。教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉」に該当する。

【学修の準備】

【予習】（2時間）

今回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。
 不明な点について文章化しまとめておく。

【復習】（2時間）

授業内容についてまとめ、考察を行う。
 不明点がある場合は、教員に質問するなどの対応を行い、解決しておく。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
 DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【実務経験】

片山 寛信（社会福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

児童養護施設や障がい者（児）相談支援事業所におけるソーシャルワークの経験を生かした、実践的教育を行なう。